

＜飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について＞

【調査の目的】

福岡県では、深刻な状況にある飲酒運転の撲滅を推進し、飲酒運転のない、県民が安心して暮らせる社会を実現するため、全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」（以下「飲酒運転撲滅条例」といいます。）が平成24年9月に全面施行されました。本条例に基づき、本県では飲酒運転撲滅に係る様々な取組を実施しています。これらの周知状況等について県民の皆様の御意見をお聴かせいただき、今後、効果的な取組を推進する上での参考とさせていただきたいと思っております。

【活用状況】

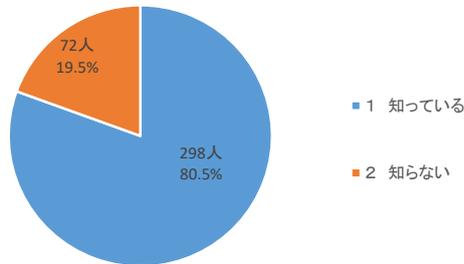
- ・飲酒運転撲滅条例の内容を始め、県で行っている飲酒運転撲滅対策に係る事業を広く県民に周知するための参考資料として活用
- ・来年度以降の飲酒運転撲滅キャンペーンの効果的な実施に向けた検討資料として活用
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用

(人づくり・県民生活部生活安全課)

問1 あなたは、福岡県の飲酒運転事故件数が全国の中でもワーストレベル(参考:令和4年は全国ワースト6位)であることを知っていますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=370 選択は1つのみ)

1 知っている	80.5%	(298人)
2 知らない	19.5%	(72人)

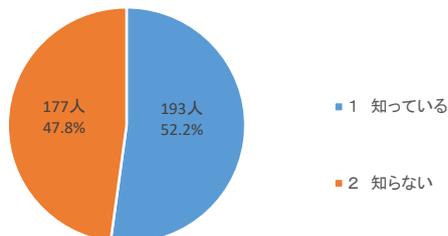


問2 福岡県では、更なる飲酒運転撲滅対策の強化と県民の意識改革を推進するため、令和2年6月に、飲酒運転撲滅スローガンの変更(「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」)や飲酒運転を見かけたときの110番通報の義務化を始めとした、飲酒運転撲滅条例の改正が行われました。

あなたは、このように条例が改正されたことを知っていますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=370 選択は1つのみ)

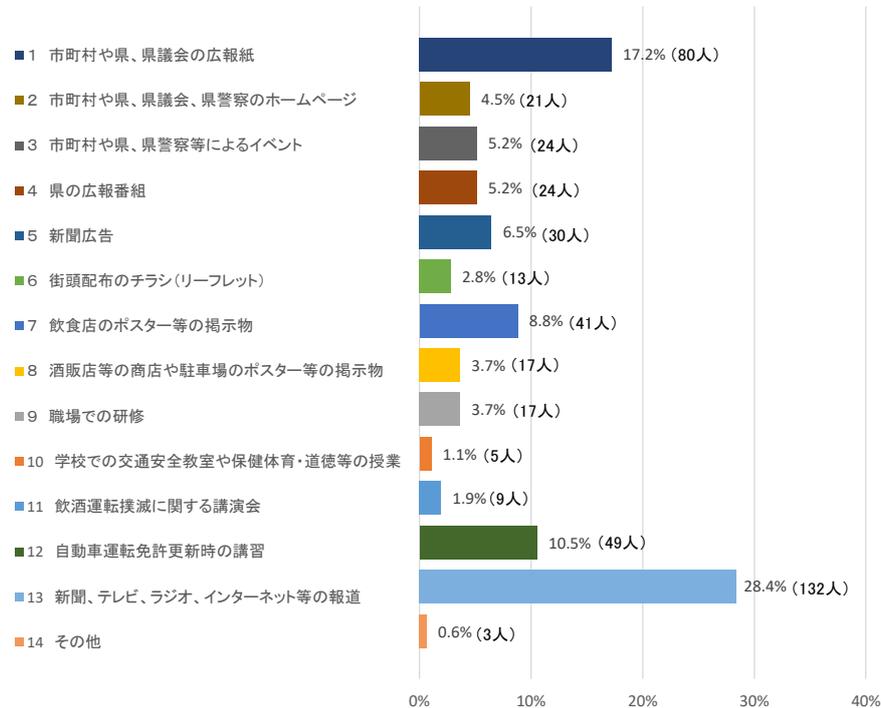
1 知っている	52.2%	(193人)
2 知らない	47.8%	(177人)



問2-2 (問2で「1」を選択された方にお尋ねします。)  
 あなたが、飲酒運転撲滅条例が改正されたことを知ったきっかけは何ですか。  
 次の中から該当するものを【すべて】選んでください。

(回答者数193人、回答件数465件、複数選択可)

1	市町村や県、県議会の広報紙	17.2%	(80人)
2	市町村や県、県議会、県警察のホームページ	4.5%	(21人)
3	市町村や県、県警察等によるイベント	5.2%	(24人)
4	県の広報番組	5.2%	(24人)
5	新聞広告	6.5%	(30人)
6	街頭配布のチラシ(リーフレット)	2.8%	(13人)
7	飲食店のポスター等の掲示物	8.8%	(41人)
8	酒販店等の商店や駐車場のポスター等の掲示物	3.7%	(17人)
9	職場での研修	3.7%	(17人)
10	学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業	1.1%	(5人)
11	飲酒運転撲滅に関する講演会	1.9%	(9人)
12	自動車運転免許更新時の講習	10.5%	(49人)
13	新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道	28.4%	(132人)
14	その他	0.6%	(3人)



問2-2-2 問2-2で「14」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

( n=3 )

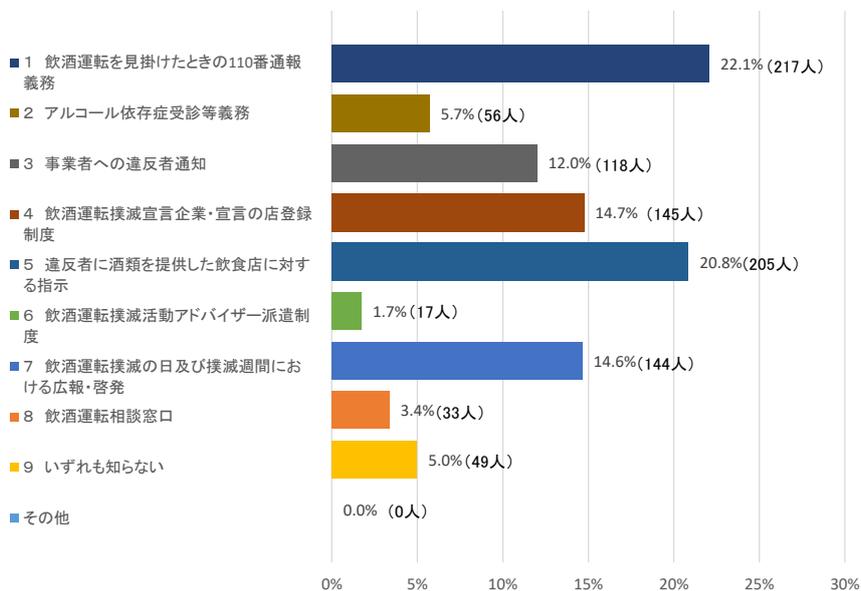
親戚に交通事故による死亡事故があったから
条例施行の切っ掛けになった事故の報道。
特に福岡市役所などの公務員の飲酒運転に関する報道。
街なかにあるデジタルサイネージ広告

問3 飲酒運転撲滅条例に基づいて、福岡県では飲酒運転撲滅に向けた様々な施策を実施しています。

次の中から知っているものを【すべて】選んでください。

(回答者数370人、回答件数984件、複数選択可)

1 飲酒運転を見掛けたときの110番通報義務	22.1%	(217人)
2 アルコール依存症受診等義務	5.7%	(56人)
3 事業者への違反者通知	12.0%	(118人)
4 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店登録制度	14.7%	(145人)
5 違反者に酒類を提供した飲食店に対する指示	20.8%	(205人)
6 飲酒運転撲滅活動アドバイザー派遣制度	1.7%	(17人)
7 飲酒運転撲滅の日及び撲滅週間における広報・啓発	14.6%	(144人)
8 飲酒運転相談窓口	3.4%	(33人)
9 いずれも知らない	5.0%	(49人)
10 その他	0.0%	(0人)



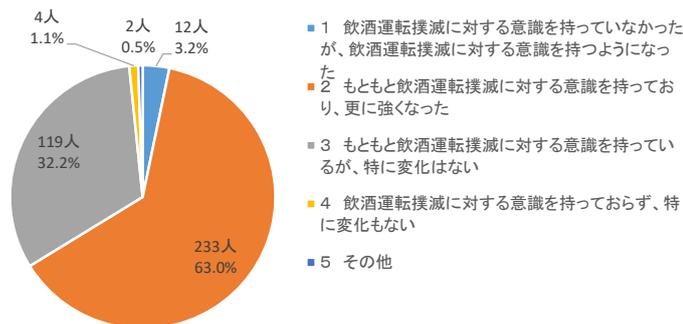
問3-2 問3で「10」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

( n=0 )

問4 近年における飲酒運転撲滅運動等をきっかけとして、御自身や周囲の方々の飲酒運転撲滅に対する意識に何らかの変化がありましたか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=370 選択は1つのみ)

1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった	3.2%	(12人)
2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っており、更に強くなった	63.0%	(233人)
3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない	32.2%	(119人)
4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない	1.1%	(4人)
5 その他	0.5%	(2人)



問4-2 (問4で「1」を選択した方にお尋ねします。)

飲酒運転撲滅に対する意識にどのような変化があったかを差し支えない範囲で具体的にしてください。

( n=12 )

一部抜粋
重大な交通事故の報道を見るたびに、自分は気をつけて運転しようと思っています。
20代で運転免許を取得した。その頃はシートベルトにしる、飲酒運転にしる、規制も緩く、意識が低かった。 しかし、事故の報道を見たり規制の法律ができたりして意識を変えてきた。社会全体も飲むときには「車は？」「飲酒運転」などが自然に会話の中に出るようになってきた。
家での晩酌が増えました。 外食をするときに場所や交通の方法をよく考えて選ぶようになりました。
飲んだら乗らない

問4-3 問4で「5」を選択された場合は、その内容を具体的にしてください。

( n=2 )

運転免許証を返納している。飲酒運転の可能性は無い。ただ、心がけは運転者に伝達する。
私自身は、お酒が飲めないので知識不足な所もありますが、友達とご飯に行く時などは、私がドライバーになり、友達も「お酒飲んでるから迎えきて」など、飲酒運転をしない友達を見ている！ ただ、知人などは、少しの距離だから！と運転している人もいると、耳に入ったりもします。 友達の中で、飲酒運転をする人は居なくなりましたが、知人などは「近い距離だから」と、自分は大丈夫だと思って軽く考えてる人もいます。

問5 飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について、これまでの設問以外に意見がありますか。  
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

( n=204 )

飲酒運転撲滅の意識について(抜粋)
飲酒運転する人はだいぶ減っていると思う。私の周りでは、まだ規制が緩い時代に飲酒運転していた年代の方が飲酒運転しているケースをよく見かけるがニュースを見ると普通に若者がしているケースも多いと思う。個々人がその危険さを意識して自分だけではなくたくさんの人を巻き込んでしまう可能性があることを理解した上で運転することが大事と思う。
意識は高まっているのではないかと思います、抜けていると思ったという方がとても多いように感じます。 車に乗る前に、アルコールが残っているかどうかチェックしてから乗るなどの習慣がつかないと良いのではないかと思います。 まずは飲んだら飲むな、飲むなら乗るなを徹底しないととは思いますが。
飲酒は好きだが車の運転ができないので、正直なところ飲酒運転がなぜ発生してしまうのかが分からない。なので飲酒運転をさせない、という外からの働きかけだけでなく、なぜ飲酒運転をしてしまうのか、という「する側」の考え方を知りたいと思う。
海の中道で起こった飲酒運転による幼児3人死亡事故の事を県民が忘れることなく心に刻み、若い世代に伝えていくことが飲酒運転をなくすことにつながると思う。
飲酒運転をする人が「これくらいなら大丈夫」という甘い気持ちでいることが問題なので、福岡で実際に起きた悲惨な事故を繰り返しメディアで伝え続けることが大切だと思います。理想は車自体にアルコールチェッカーを付けて基準値を超えたら運転できないといった技術の進歩が望まれますが、まだまだ難しいので、やはり少しずつでも意識を変えていくことだと思います。特に田舎では人の目が少なく、見つからないからと気が大きくなって人が多いと思うので…
福岡県が飲酒運転件数が多く、かつ海の中道の事故をきっかけに飲酒運転撲滅の活動や啓発を積極的に行っていることは認識していましたが、内容については詳しく知りませんでした。私や私の周りでは「飲酒運転はしない」が当たり前の認識になっており、深く考えたり調べたりしたことがありませんでした。本アンケートを機にどのような法律・条例があるのか、どのような組織・団体がどのような活動をしているのかに関心を持ちました。

飲酒運転撲滅の取組について(抜粋)
飲酒運転の撲滅のためには、時間はかかりますが、啓発活動を継続的に進めていくしかないと思います。
福岡県では海の中道大橋の事故以来、飲酒運転防止に対する啓発が盛んになっているが、いまだに、飲酒運転が減らないことに、驚いている。 学校での啓発活動も大切だが、やはり免許更新時の啓発などもっと充実したらいいと思っている。
県内における飲酒運転のニュースを度々見かけるが、いまだに飲酒運転が存在すること自体が信じられない。ちょっとくらい大丈夫と思う層が少なからず存在するというところだろうが、飲酒の場面においてポスターなどでの啓発を続けるしかないのかなどは思う。
お店などで掲示されている(飲酒運転撲滅やハンドルキーパー的なの)は見かけたことがあるのですが、飲みに行く方でパーキングエリアに停めて行く人もいるかと思うので、パーキングエリアへの掲示も効果的と感じました。明らかに飲まれてる様子で、パーキング料金を払っていたりすと張り紙があれば、警察に連絡しやすいし、飲酒運転しようとする側もやりづらいのではないかなと思いました。
飲酒したら運転しないを成人するまでにしっかりと繰り返し学ぶことが大事だと思う。大人には職場で、共通認識出来るように健康診断くらいするようなタイミングで飲んだら運転しない、飲ませたらハンドル握らせない事と毎年話し合えるような機会を設けたら良いと思う。
私が幼少期の時は飲酒運転に対しておらかな雰囲気があったが、ニュースで取り上げられたり飲酒運転は許されないと啓発運動も盛んになり世の中の雰囲気が変わってきていると感じる。 これからの世代への飲酒運転は許されないという教育が大切だと感じる。
20年前くらいは1杯位なら飲酒運転をする人が許されていた気がしますが、特に福岡県では海の中道の事故以降飲酒運転をする人が私の周りだけでなく、人づてにも聞きませんので、未だに飲酒運転をしている人がいることが信じられません。 あの事故以来罰則も厳しくなり、良識ある人はそこで意識の改善が行われたと思っています。 今なお飲酒運転をしている人は、良識がない又は依存症なのではないかと思っています。 飲酒運転をした人のどれくらいが依存症であるのか、データは出ていると思いますので、その方たちをケアしてほしいです。
飲食店での飲酒は、店側が車で来店していないか確認したり運転者にはアルコールを提供しないなどの抑制措置を取ることができるが、自宅・屋外での飲酒は個人の範疇なので、運転を阻止することが難しい。車体にアルコールを検知したらエンジンがかからない、等の設備をつける施策をメーカーと共に進めてほしい。